



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 沖電気工業株式会社
 コード番号 6703 URL <https://www.oki.com/jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鎌上 信也

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山内 篤

TEL 03-3501-3836

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	266,853	18.6	2,588		3,433		8,465	
2020年3月期第3四半期	327,858	9.5	9,131	83.1	7,290	160.2	7,183	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,011百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 10,544百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	97.79	
2020年3月期第3四半期	83.02	82.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	341,866	96,099	28.0
2020年3月期	372,471	106,440	28.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 95,874百万円 2020年3月期 106,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		50.00	50.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,000	11.4	8,500	49.5	8,000	42.0	1,000	92.9	11.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	87,217,602 株	2020年3月期	87,217,602 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	653,492 株	2020年3月期	690,583 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	86,564,567 株	2020年3月期3Q	86,529,724 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年2月4日(木)に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）の概況

国内では労働力不足やインフラ老朽化など、またグローバルでは環境問題、5G/AIをはじめとする技術革新に加えて、新型コロナウイルス感染症によるパラダイムシフトなど、OKIを取り巻く事業環境は著しい変化が続いています。

このような環境変化がもたらす社会課題に対応するため、OKIは、共創によるイノベーションを加速するとともに、事業ポートフォリオの再構築および経営基盤の強化に取り組んでいます。長い歴史で築き上げた端末のインストールベースと強固な顧客基盤を価値創造の源泉として、リアルな世界でのモノづくりと、クラウドとをリアルタイムに連携させるソリューションやサービスのコトづくりの両輪で、社会課題の解決を目指しています。

当第3四半期連結累計期間の業況は、売上高は2,669億円（前年同期比610億円、18.6%減少）となりました。前期においては大型案件や売上計上基準の変更影響が寄与しており、これらの反動減が影響しました。さらに、ブラジル子会社の事業譲渡や新型コロナウイルス感染症影響など、複数の要因が重なり、大幅な減収となりました。この減収の結果、営業損失は26億円（同117億円悪化）、経常損失は34億円（同107億円悪化）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、事業構造改善費用27億円を計上したことなどにより、85億円（同157億円悪化）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響額は、売上高で約230億円、営業利益で約70億円、それぞれマイナス影響がありました。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	2,669	3,279	△18.6%
営業利益	△26	91	—
経常利益	△34	73	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△85	72	—

事業別の外部顧客に対する売上高および営業利益は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分およびセグメントごとの利益または損失の測定方法を変更しております。そのため、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分および測定方法により組み替えた数値で比較しております。

②事業別の状況

＜ソリューションシステム事業＞

売上高は1,286億円（前年同期比287億円、18.3%減少）、営業利益は65億円（同42億円減少）となりました。前期の大型案件の反動減および工事進行基準の適用範囲拡大による初年度影響が大きく、減収減益となったものの、四半期ごとに売上、利益共に回復しており、計画を若干上回り順調に推移しています。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	1,286	1,573	△18.3%
営業利益	65	107	△39.6%

＜コンポーネント&プラットフォーム事業＞

売上高は1,352億円（前年同期比258億円、16.1%減少）となりました。海外市場において、新型コロナウイルス感染症による影響を強く受けました。特に、自動機の成長市場であるアジア各国の市場が予想以上に停滞しています。欧州におけるプリンターなどについては、一部で改善が見られるものの限定的です。国内市場については、相対的に安定しておりましたが、感染症の影響が長期化するにつれ、EMSや自動機の一部顧客において計画の見直しまたは延伸などの影響が顕在化しつつあります。

営業損失は42億円（同81億円悪化）となりました。構造改革の諸施策による費用削減効果が寄与しはじめ、為替効果や欧州における消耗品販売の一時的な増加などもあり、第3四半期に入り一部収益改善が進みましたが、当第3四半期連結累計期間では減収に伴い減益となりました。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	1,352	1,610	△16.1%
営業利益	△42	39	－

＜その他＞

売上高は、31億円（前年同期比64億円、67.7%減少）、営業損失は3億円（同1億円悪化）となりました。主にブラジル子会社の事業譲渡の影響により、減収となりました。

単位：億円	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	31	95	△67.7%
営業利益	△3	△2	－

(2) 財政状態に関する説明

①当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して306億円減少の3,419億円となりました。自己資本は、親会社株主に帰属する四半期純損失を85億円計上したことおよび普通配当を43億円実施した一方で、その他の包括利益累計額が24億円増加したこと等により、前連結会計年度末に対して103億円減少の959億円となりました。その結果、自己資本比率は28.0%となりました。

資産では主に、受取手形及び売掛金が333億円減少した一方で、たな卸資産が81億円増加しております。

負債では主に、支払手形及び買掛金が114億円減少しております。なお、借入金は前連結会計年度末777億円から2億円増加し、779億円となりました。

②当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に運転資金が減少したことにより、110億円の収入（前年同期116億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入があった一方で、固定資産の取得による支出等があったことにより、111億円の支出（同10億円の収入）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとを合わせたフリー・キャッシュ・フローは1億円の支出（同126億円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、普通配当の実施およびリース債務の返済による支出等により、71億円の支出（同58億円の支出）となりました。

以上の要因に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額による減少1億円により、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末の465億円から392億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績および足元の状況を鑑み、2020年10月29日公表値を据え置きます。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動、災害等による影響などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,227	42,000
受取手形及び売掛金	111,314	77,956
製品	15,901	19,407
仕掛品	14,332	21,679
原材料及び貯蔵品	21,978	19,218
その他	24,352	24,530
貸倒引当金	△382	△412
流動資産合計	236,726	204,380
固定資産		
有形固定資産	51,428	50,187
無形固定資産	11,288	12,319
投資その他の資産	73,027	74,979
固定資産合計	135,744	137,486
資産合計	372,471	341,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,714	50,315
短期借入金	35,415	44,820
引当金	7,382	5,144
その他	55,429	50,550
流動負債合計	159,940	150,830
固定負債		
長期借入金	42,310	33,100
役員退職慰労引当金	372	346
その他の引当金	1,468	1,442
退職給付に係る負債	32,129	32,409
その他	29,808	27,638
固定負債合計	106,090	94,936
負債合計	266,030	245,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	19,047	19,029
利益剰余金	60,847	48,056
自己株式	△971	△919
株主資本合計	122,923	110,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△218	845
繰延ヘッジ損益	112	△159
為替換算調整勘定	△9,029	△8,592
退職給付に係る調整累計額	△7,583	△6,384
その他の包括利益累計額合計	△16,718	△14,291
新株予約権	171	160
非支配株主持分	64	64
純資産合計	106,440	96,099
負債純資産合計	372,471	341,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	327,858	266,853
売上原価	245,164	202,603
売上総利益	82,693	64,250
販売費及び一般管理費	73,561	66,838
営業利益又は営業損失(△)	9,131	△2,588
営業外収益		
受取利息	74	28
受取配当金	1,091	803
雑収入	566	993
営業外収益合計	1,732	1,825
営業外費用		
支払利息	1,283	1,070
為替差損	1,433	—
雑支出	856	1,599
営業外費用合計	3,574	2,669
経常利益又は経常損失(△)	7,290	△3,433
特別利益		
固定資産売却益	4,841	—
投資有価証券売却益	4,373	—
関係会社株式売却益	165	—
受取損害賠償金	202	—
事業譲渡益	—	525
特別利益合計	9,582	525
特別損失		
固定資産処分損	325	704
減損損失	—	761
関係会社株式売却損	192	—
災害による損失	306	—
事業構造改善費用	1,699	2,708
特別損失合計	2,523	4,174
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,349	△7,082
法人税、住民税及び事業税	1,504	95
法人税等調整額	5,630	1,262
法人税等合計	7,135	1,357
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,214	△8,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	24
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	7,183	△8,465

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,214	△8,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,588	1,063
繰延ヘッジ損益	△74	△271
為替換算調整勘定	717	437
退職給付に係る調整額	1,098	1,198
その他の包括利益合計	3,330	2,428
四半期包括利益	10,544	△6,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,511	△6,038
非支配株主に係る四半期包括利益	33	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,349	△7,082
減価償却費	9,234	9,318
減損損失	—	761
引当金の増減額(△は減少)	△279	△2,269
受取利息及び受取配当金	△1,166	△831
支払利息	1,283	1,070
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,325	△58
固定資産処分損益(△は益)	△4,516	704
事業譲渡損益(△は益)	—	△525
売上債権の増減額(△は増加)	5,363	30,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,791	△9,699
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,929	△10,629
その他	1,148	2,231
小計	14,369	13,702
利息及び配当金の受取額	1,147	831
利息の支払額	△1,333	△1,067
法人税等の支払額	△2,535	△2,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,647	10,960
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,499	△19,817
有形固定資産の売却による収入	6,073	12,004
無形固定資産の取得による支出	△3,102	△2,943
投資有価証券の売却による収入	8,034	1,352
事業譲渡による収入	—	400
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△0	△1,045
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	27	—
長期前払費用の取得による支出	△1,289	△1,285
その他の支出	△662	△163
その他の収入	410	440
投資活動によるキャッシュ・フロー	991	△11,055
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	14,416	10,421
長期借入金の返済による支出	△12,547	△9,893
配当金の支払額	△4,332	△4,305
リース債務の返済による支出	△3,253	△3,356
その他	△67	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,785	△7,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,837	△7,325
現金及び現金同等物の期首残高	26,823	46,517
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,661	39,191

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症による影響)

OKIグループ(当社及び連結子会社)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が当連結会計年度も一定期間続くとの仮定のもと、会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候判定等)を会計処理に反映しており、当該仮定に前連結会計年度から重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、将来における結果がこれらの仮定及び見積りとは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソリューションシステム	コンポーネント&プラットフォーム	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	157,317	161,034	318,352	9,505	327,858	—	327,858
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,786	5,080	7,866	11,852	19,718	△19,718	—
計	160,103	166,115	326,219	21,358	347,577	△19,718	327,858
セグメント利益 又は損失(△)	10,721	3,945	14,667	△173	14,493	△5,362	9,131

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,362百万円には、セグメント間取引消去126百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,374百万円及び固定資産の調整額△113百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソリューション システム	コンポーネン ト&プラット フォーム	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	128,598	135,185	263,784	3,069	266,853	—	266,853
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,494	4,693	7,188	9,001	16,189	△16,189	—
計	131,093	139,879	270,972	12,070	283,043	△16,189	266,853
セグメント利益 又は損失 (△)	6,472	△4,176	2,296	△291	2,005	△4,593	△2,588

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,593百万円には、セグメント間取引消去116百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,727百万円及び固定資産の調整額17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、IoT/5G時代に求められるモノづくりの強化を目指してメカトロシステム事業、プリンター事業、EMS事業を再編し、「コンポーネント&プラットフォーム事業」としております。また、情報通信事業を「ソリューションシステム事業」に改称しております。さらに、従来、報告セグメントのメカトロシステム事業として開示しておりましたOKI BRASIL INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE PRODUTOS E TECNOLOGIA EM AUTOMAÇÃO S. A. 及びその子会社は清算手続きに向け準備中であることから、報告セグメントから除外し、「その他」の区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より報告セグメントごとの業績をより適切に反映するために、全社費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更を行っております。

なお、第2四半期連結累計期間より、当該測定方法の変更によるセグメント利益又は損失に与える影響の重要性が増したことから、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報においても変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。